

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	美術館美術課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-823-1711
	取組方針	「アート・シティ高松」の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	美術館運営事業			

【事業全体概要】

事業概要	市民に優れた芸術を鑑賞できる機会を提供するため、美術館主催展として常設展及び特別展を開催するとともに、エントランスミニコンサートなどの催し物を開催する。				
年度概要	市民に優れた芸術を鑑賞できる機会を提供するため、魅力的な特別展や収蔵品を活用した常設展を開催するとともに、エントランスミニコンサートなどの催しを開催する。 また、塩江美術館では、主に地元ゆかりの美術作家の作品を鑑賞する企画展や常設展を開催するとともに、様々な催し物を開催する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	博物館法

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	魅力ある展覧会の開催により、より多くの来館者に芸術に親んでもらう。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
高松市美術館主催展覧会会期日数	回	0	0	481	449	449

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
成果指標	高松市美術館主催展入場者数	人	目標値 実績値	0 0	0 0	60,000 86,376	60,000	60,000
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	様々なジャンルの特別展を開催したことにより、世代性別を問わず集客があり目標を大幅に上回った。常設展については、エントランス・ランチギャラリーと連動した展示や出品作家のワークショップの開催に加え、国内外からの観光客により、入館者数が目標を大きく上回った。	（目標達成度） <b>144.0%</b>		（得点） <b>35点</b>				
成果指標	展覧会鑑賞に満足した人の割合	%	目標値 実績値	0 0	0 0	85 88.9	85	85
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	魅力的な展覧会ラインナップにより、様々な世代の鑑賞者に満足してもらい、高い評価をいただくことができた。	（目標達成度） <b>104.6%</b>		（得点） <b>35点</b>				

【コストの推移】

	単位	R 4( 決算 )	R 5( 決算 )	R 6( 決算 )	R 7( 予算 )
トータルコスト	[千円]	84,637	75,637	98,632	109,418
(事業費)	[千円]	65,927	56,819	66,517	77,303
(職員人件費)	[千円]	18,710	18,818	32,115	32,115

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 ( 予算の増減理由 )	事業費		
令和 6 年度	市民に優れた芸術を鑑賞できる機会を提供するため、魅力的な特別展や収蔵品を活用した常設展を開催するとともに、エントランスミニコンサートなどの催しを開催する。 また、塩江美術館では、主に地元ゆかりの美術作家の作品を鑑賞する企画展や常設展を開催するとともに、様々な催し物を開催する。	特別展 53,998千円 塩江展示費 1,692千円 常設展 9,026千円 情報提供費 1,801千円	総額	66,517	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	46,761
一般財源	19,756				
令和 7 年度	市民に優れた芸術を鑑賞できる機会を提供するため、魅力的な特別展や収蔵品を活用した常設展を開催するとともに、エントランスミニコンサートなどの催しを開催する。 また、塩江美術館では、主に地元ゆかりの美術作家の作品を鑑賞する企画展や常設展を開催するとともに、様々な催し物を開催する。	特別展 63,573千円 塩江展示費 1,728千円 常設展 9,821千円 情報提供費 2,181千円	総額	77,303	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	56,156
一般財源	21,147				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C ( 0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 ( 評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入 )

様々なジャンルの特別展を開催したことにより、世代性別を問わず集客があり目標を大幅に上回った。常設展については、エントランス・プランチギャラリーと連動した展示や出品作家のワークショップの開催に加え、国内外からの観光客により、入館者数が目標を大きく上回った。

【今後の事業方針】 ( 評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入 )

事業経費のスリム化に努めるとともに、市民ニーズに即した展覧会事業を開催する。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	美術館美術課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-823-1711
	取組方針	「アート・シティ高松」の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	美術館資料収集事業			

【事業全体概要】

事業概要	美術品の取得方針に基づき、美術館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入するとともに、リニューアルオープン以降、更に本市の文化芸術の発信拠点の一つとなるべく、より優れた美術品等購入によりコレクションの拡充を図る。また、美術図書及び映像資料を継続的に収集する。				
年度概要	本市の文化芸術の発信拠点の一つとなるべく、美術館の取得方針に基づき、より優れた美術品を計画的・系統的に購入することによりコレクションを拡充する。また、美術図書も継続的に収集する。				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	博物館法	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	文化芸術の拠点として、優れた美術作品を購入、展示公開することによって、来館者の満足度が増加する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
コレクション展所蔵作品出品点数	点	0	0	211	208	208

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		高松市美術館コレクション展入場者数	人	目標値 実績値	0 0	0 0	23,000 35,945	23,000
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	収集した美術品を常設展等で公開している。本年度は、特別展の集客が増加した影響やエントランスホール・ランチギャラリーとの連動企画、関連イベントの開催、インバウンドの増加が要因となり、目標を上回って達成できた。			（目標達成度） 156.3%		（得点） 35点		
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				（目標達成度）		（得点）		

【コストの推移】

	単位	R 4( 決算 )	R 5( 決算 )	R 6( 決算 )	R 7( 予算 )
トータルコスト	[千円]	19,833	20,217	23,728	23,500
(事業費)	[千円]	11,601	11,937	12,148	11,920
(職員人件費)	[千円]	8,232	8,280	11,580	11,580

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 ( 予算の増減理由 )	事業費		
令和 6 年度	本市の文化芸術の発信拠点の一つとなるべく、美術館の取得方針に基づき、より優れた美術品を計画的・系統的に購入することによりコレクションを拡充する。 また、美術図書も継続的に収集する。	資料収集費 12,148 千円	総額	12,148	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	500
一般財源	11,648				
令和 7 年度	本市の文化芸術の発信拠点の一つとなるべく、美術館の取得方針に基づき、より優れた美術品を計画的・系統的に購入することによりコレクションを拡充する。 また、美術図書も継続的に収集する。	資料収集費 11,920 千円	総額	11,920	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	11,920				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C ( 0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 ( 評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入 )

質の高い作品を収蔵できたことに加え、これまでに購入・収蔵してきたコレクションに関わりの深い作品が寄贈され、一層コレクションが充実した。  
収集した美術品を常設展等で公開している。本年度は、特別展の集客が増加した影響やエントランスホール・ランチギャラリーとの連動企画、関連イベントの開催、インパウンドの増加が要因となり、目標を上回って達成できた。

【今後の事業方針】 ( 評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入 )

効率の良い事業経費を目指すとともに、魅力的な収蔵品の拡充を行う。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	美術館美術課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-823-1711
	取組方針	「アート・シティ高松」の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	美術教育普及事業			

【事業全体概要】

事業概要	短期実技講座などを開講し、幅広い美術の表現領域の体験や、鑑賞プログラムを開催する。美術館展覧会の鑑賞教育等学校活動分野への積極的な活用を図るために、サンクリスタル学習参加校を美術館でも受け入れる美術館学習を実施する。			
年度概要	短期実技講座などを開講し、幅広い美術の表現領域の体験や、鑑賞プログラムを開催する。また、「こどもアートスペース」で未就学児を始め世代を超えた普及プログラムも展開する。美術展鑑賞を学校行事等で活用してもらうために、美術館学習等の実施も積極的に行う。			
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	博物館法

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	様々なワークショップ等の開催により、制作を通して、美術の楽しみ方の幅や関心を高めるとともに技術も修得してもらう。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
教育普及プログラム実施回数	回	0	0	120	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		教育普及プログラム参加者数	人	目標値 実績値	0 0	0 0	7,700 11,632	7,700
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	特別展の講演会の参加者数の増加や、こどもアートスペースでのワークショップに多くの参加者があったほか、各イベントの参加者数が好調であったため、目標値を大幅に上回っての達成となった。			(目標達成度) 151.1%		(得点) 35点		
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)		(得点)		

【コストの推移】

	単位	R 4( 決算 )	R 5( 決算 )	R 6( 決算 )	R 7( 予算 )
トータルコスト	[千円]	11,887	11,966	16,877	16,995
(事業費)	[千円]	1,409	1,428	1,437	1,555
(職員人件費)	[千円]	10,478	10,538	15,440	15,440

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 ( 予算の増減理由 )	事業費		
令和 6 年度	短期実技講座などを開講し、幅広い美術の表現領域の体験や、鑑賞プログラムを開催する。また、「こどもアートスペース」で未就学児を始め世代を超えた普及プログラムも展開する。 美術展鑑賞を学校行事等で活用してもらうために、美術館学習等の実施も積極的に行う。	教育普及費 1,437千円	総額	1,437	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	242
一般財源	1,195				
令和 7 年度	短期実技講座などを開講し、幅広い美術の表現領域の体験や、鑑賞プログラムを開催する。また、「こどもアートスペース」で未就学児を始め世代を超えた普及プログラムも展開する。 美術展鑑賞を学校行事等で活用してもらうために、美術館学習等の実施も積極的に行う。	教育普及費 1,555千円	総額	1,555	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	156
一般財源	1,399				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C ( 0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 ( 評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入 )

特別展の講演会の参加者数の増加や、こどもアートスペースでのワークショップに多くの参加者があったほか、各イベントの参加者数が好調であったため、目標値を大幅に上回った。

【今後の事業方針】 ( 評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入 )

経費の見直しを図り事業をスリム化するとともに、参加者の増加を図るため、講座内容の充実を行う。